

**成果をあげる能力」は習得できる！**

**知識があつて、理解力があり 懸命に働くだけでは十分ではない。  
成果をあげるには、これとは違う何かが必要である」**

ドラッカーは、仕事において成果をあげるには、特別の才能や適性は必要ないといういくつかの簡単なことを行うだけでよい。  
そして簡単な習慣を身につければよい。

第1に、貢献を考えることである。

これは簡単なことのように思えて実はそうでない。

第2に、集中することである。

これも簡単なことに見えるが、そうではない。

集中するには優先順位を決めなければならない。

第3に、目線を高くすることである。

世のため人のためという目線の高さがなければ飛躍は無理である。

必ず欲という落とし穴に落ち込む。

そしてもう一つ。

ドラッカーが口を酸っぱくして説くものがある。

成果をあげるために必須な資質として、真摯たることである。

これなくして成果を望むことは不可能である。

**成果をあげることは習得できる。そして習得しなければならない」**

経営者の条件」ドラッカーより参照

**<経営のヒント>**

**第1の条件、貢献とは？**

私はこの対比として「評価」という言葉を考えます。

評価は自分が中心です（自分本位）。

貢献とは相手からの目線であり、仲間であり、世の中から見てもうかがえます。

つまりは相手本位です。

**第2の条件、集中とは？**

一つに集中するには、他のものを捨てることです。

捨てるのは勇気が必要であり、その判断基準が自分自身に明確になっていなければなりません。

つまりは、価値観を明確に、アイデンティティを確立する必要があるのですね。

**第3の条件、目線を高くするとは？**

常に全体像、大局を見ることとなります。

そして未来から、全体から、本質を見抜く訓練をしておくことです。

**最後に「真摯さ」**

自分の不完全性を知り、常に謙虚で、縁や関係性に感謝することですね。

..まさに、人格の完成を目指すこと..なんですね。